

【第2回】旧庁舎解体工事 進捗状況 (R6.3/18発行)

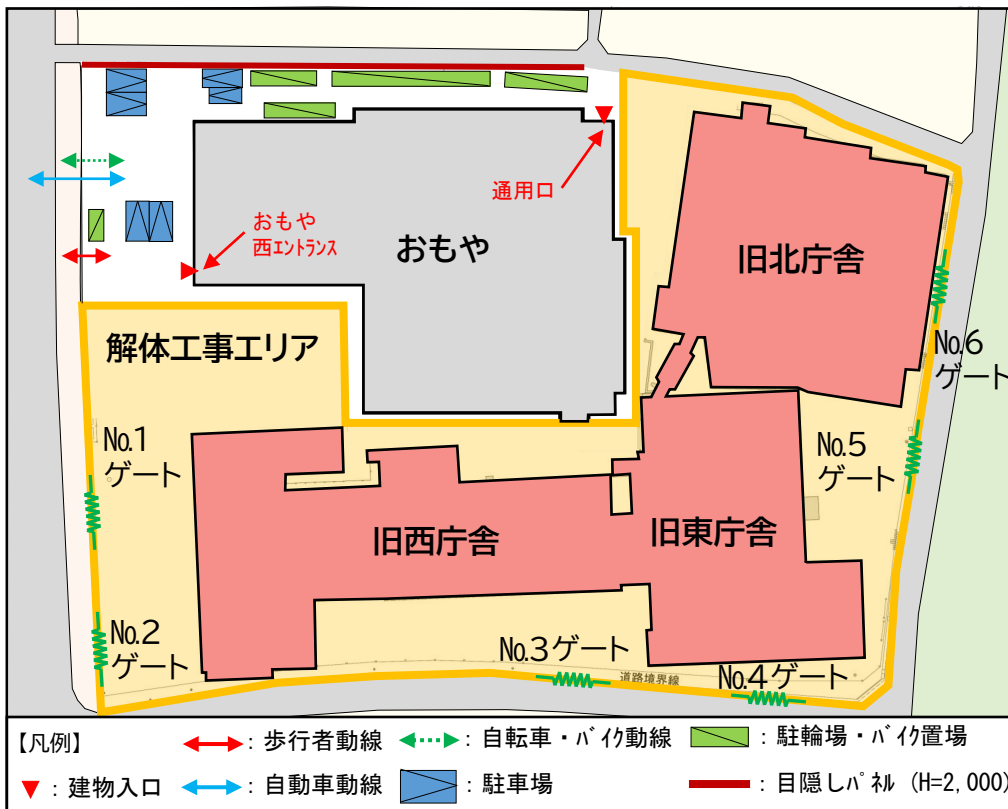
※次回更新
R6.7月中旬予定

作成者：府中市新庁舎建設推進室
大成・三浦 建設共同企業体

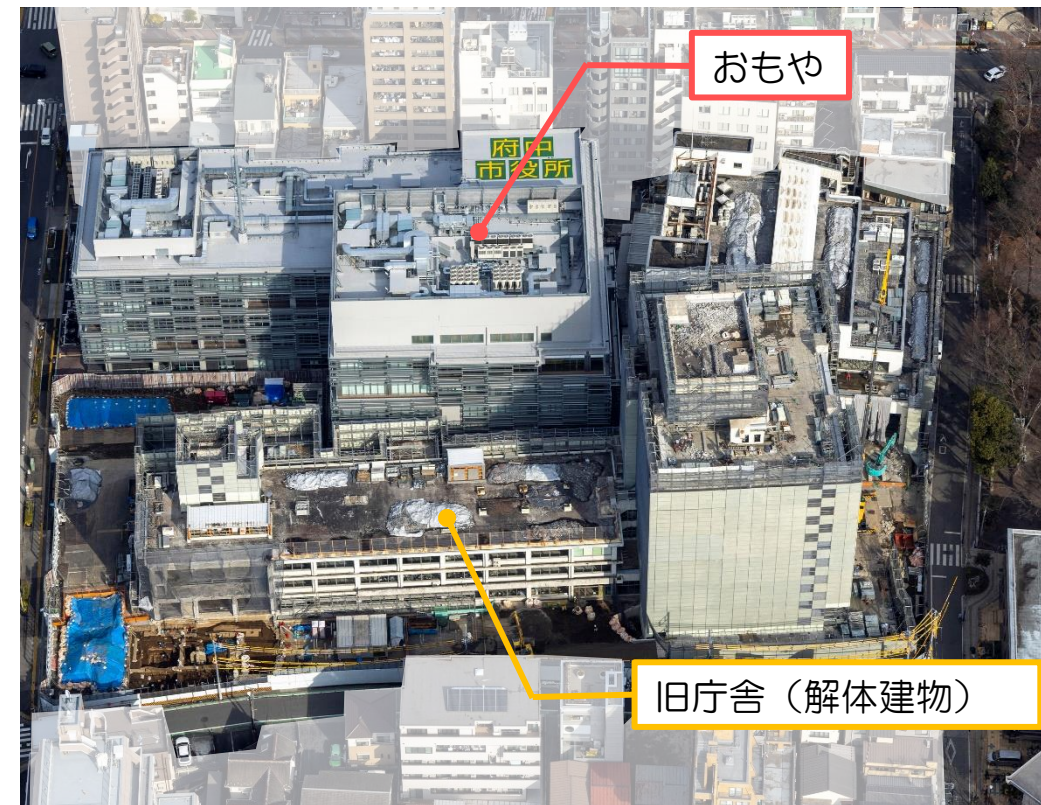
【解体建物概要】

敷地面積	11,633.89㎡
構造	【旧西庁舎】 鉄筋コンクリート造 【旧東・北庁舎】 鉄骨鉄筋コンクリート造
階数	【旧西庁舎】 地上3階 地下1階 【旧東庁舎】 地上8階 地下1階 【旧北庁舎】 地上5階 地下2階
最高高さ	【旧西庁舎】:20.24m 【旧東庁舎】:40.62m 【旧北庁舎】:25.80m
延べ面積	22,186.49㎡

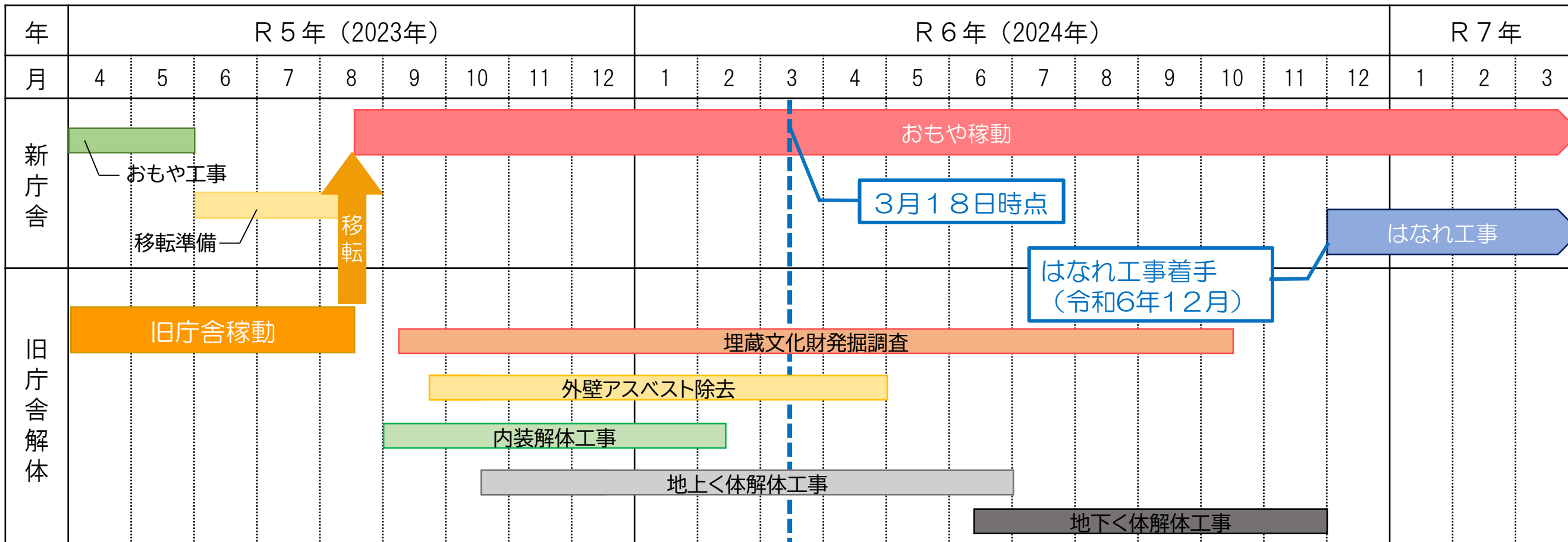
【配置計画 (おもや稼働時)】



【航空写真 (R6.2月9日時点)】

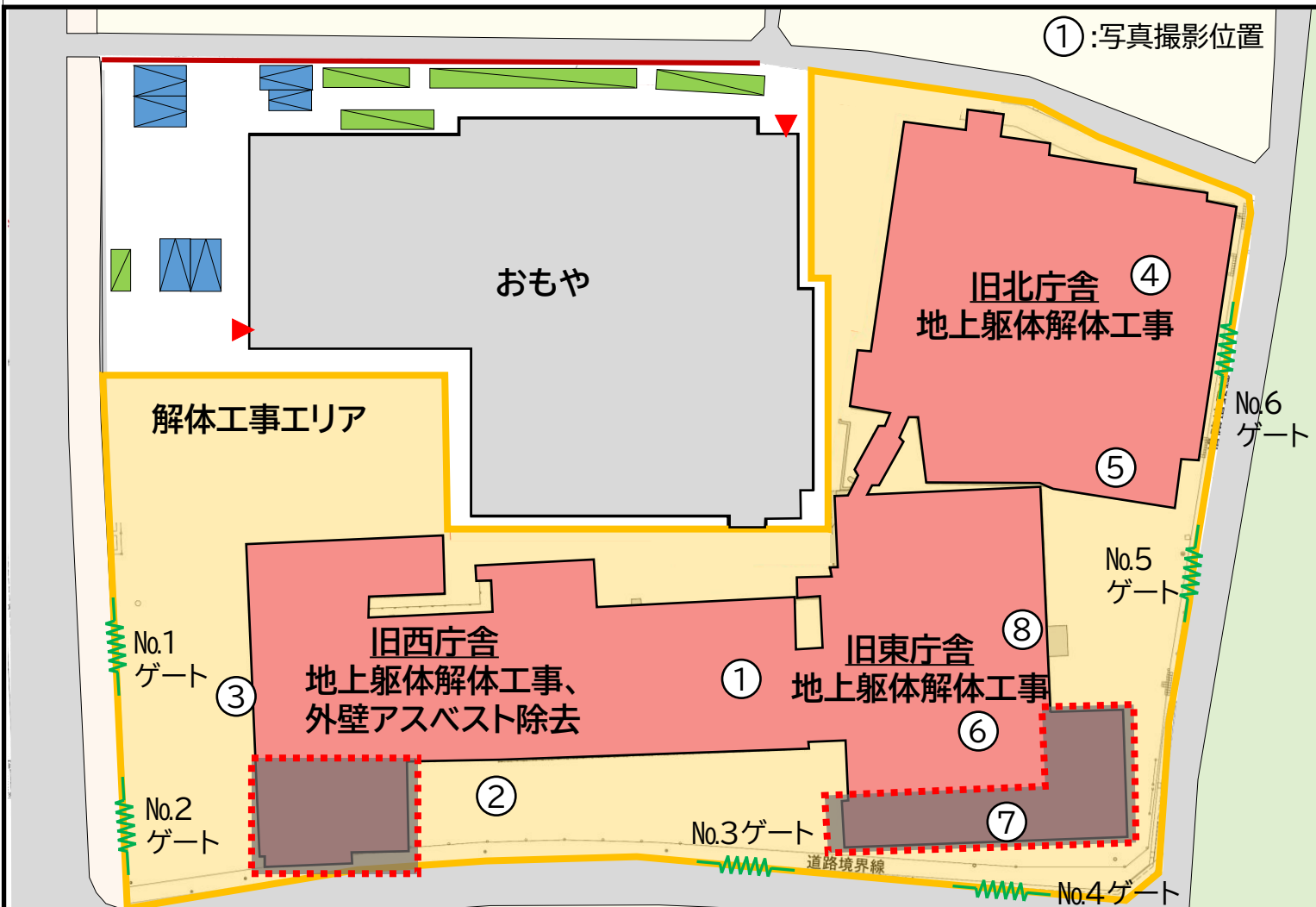


【工程表】



【平面進捗図】

 :地上躯体解体済み部分



●旧北庁舎解体状況：鉄骨鉄筋コンクリート造【地上5階地下2階】

④【5階：旧食堂】
内装の解体が完了しました。



◇解体前



◆内装解体後

□躯体解体中



⑤【1階：駐車場】
解体で出たコンクリートガラや鉄筋を搬出する車両を入れるため、1階の壁と2階の床面の解体を行っています。

●旧東庁舎解体状況：鉄骨鉄筋コンクリート造【地上8階地下1階】

⑥【7階：執務室】
内装の解体が完了しました。

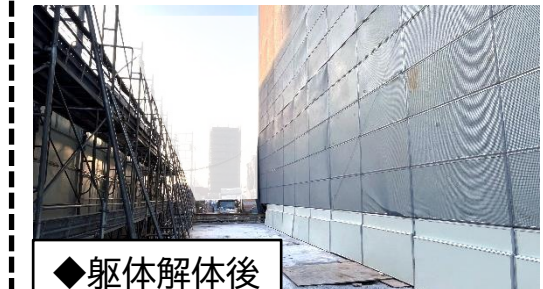


◇解体前



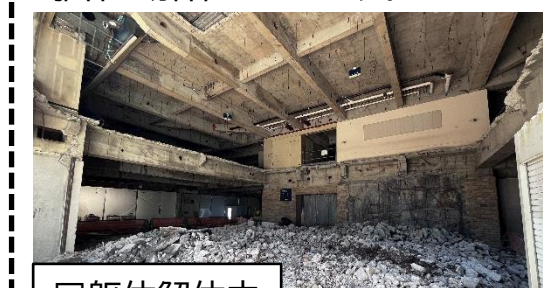
◆内装解体後

⑦【1階：総合窓口課】
躯体の一部を解体しました。



◆躯体解体後

⑧【1階：東玄関】
躯体を解体しています。



□躯体解体中

●旧西庁舎解体状況：鉄筋コンクリート造【地上3階 地下1階】

①【1階：廊下】内装の解体が完了しました。



◇解体前



◆内装解体後

②【旧西庁舎南側】躯体の一部を解体しました。



◇解体前

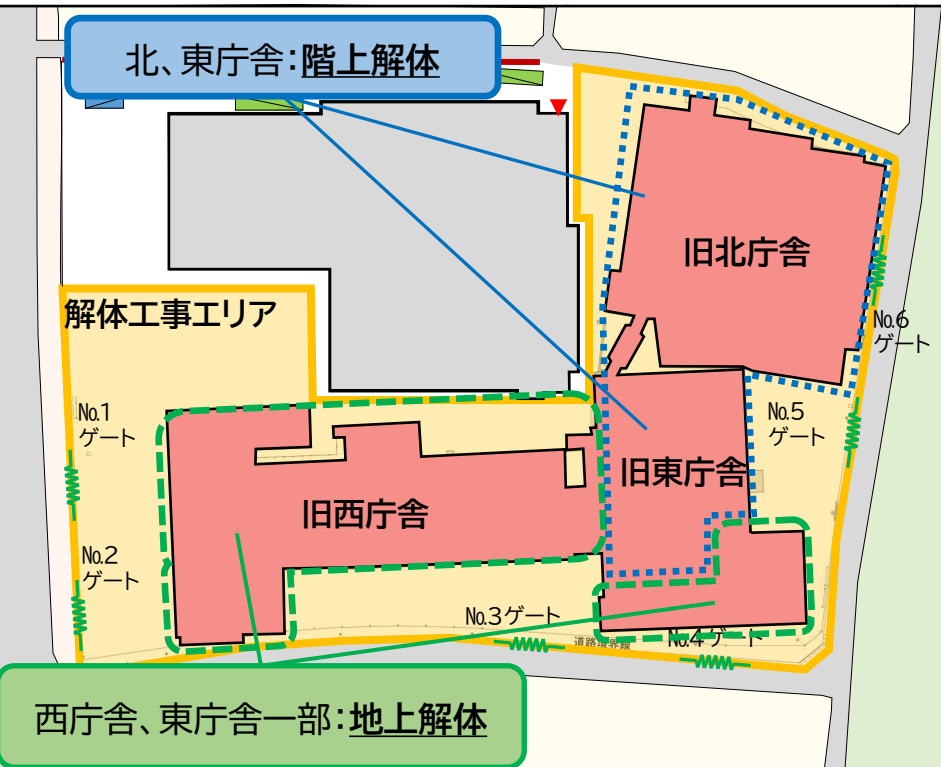


◆躯体解体後

□躯体解体中



③【西玄関】
西側の躯体を解体しています。
地上からアームの長い重機により解体作業を行っています。



●**躯体解体について**

●**地上解体【旧西・東庁舎一部】**
地上から重機により解体をする工法です。地上部から解体していくため、高さの低い建物の解体で利用される工法です。

●**階上解体【旧東・北庁舎】**
建物の屋上にクレーンで解体用重機を揚重し、建物の上から解体する工法です。解体で出たガラを利用して下階に降りるスロープを作成し、解体を行いながら下階へ降りていきます。

●**階上解体**

解体用重機

オールテレーンクレーン (160t)

【重機揚重】
大型のクレーンを用いて解体用重機(10t)を屋上に揚重します。

【躯体解体】
屋上に据えた重機により下階に向けて解体を進めます。

●**地上解体**

【地上解体】
地上から解体用重機により建物の上から解体します。**上階の躯体は通常よりアームの長い重機**を利用して解体します。

【小割】
建物から切り離れた躯体を、**搬出ができる大きさ**に「小割り」をします。その過程でコンクリートの中に入っている鉄筋を分別します。

アームから放水

地上からホースにより放水

【散水】
解体、小割時に発生する**粉塵などの飛散を抑える**ため、放水により、湿らせながら解体を進めます。

●**階上解体の流れについて**

Step1
クレーンを用いて屋上に重機を揚重する

解体用重機

大型クレーン

Step2
揚重した重機で躯体を解体する

重機・人力により、床・梁・柱・壁を解体

Step3
解体で出たガラでスロープを造り、下階へ降りる

ガラスロープで下階へ

●**強力サポート**

強力サポート

解体中の重機重量などで床が抜けるのを防ぐため、下階や地下に写真のような**強力サポート**を設置します。**突っ張り棒のように梁を突っ張ることで床や梁にかかる加重を分散**させます。
1本あたり**約10tの耐荷重**があり、解体工事中の加重を計算し、必要な本数を設置します。解体が進むに伴って、下階へ移設します。

●**使用重機**

通常よりアームの長い重機です。最大で約30mの高さまで届きます。

梁の解体等に使用します。ハサミのような形状で、油圧によりコンクリートを切断します。

コンクリートを圧砕し小さくする小割りや鉄筋の分別に使用します。